

化がある。

来、漢学をはじめとする
豊かにすることを目指してきました。
た奨学金や活動支援を、
0周年記念事業募金を募集しています。
て開かれる学生の未来。
彩な文化が交差し、出会う場所へ。
が生まれている。
大東文化大学がいます。

建学の精神

漢学（特に儒教）を中心として東洋の文化を教授・研究することを通じて、その振興を図ると共に、儒教に基づく道義の確立を期し、更に東洋の文化を基盤として西洋の文化を摂取吸収し、東西文化を融合して新しい文化の創造を目指す。

「青桐」の由来

校章のモチーフにもなっている青桐の葉。創設地である九段校舎の真っ白な壁面を囲む濃緑の梧桐＝青桐が印象的であったことから、創設時の初心を忘れぬよう、今も大切に継承している。

UNIVERSITY

ご寄付 手続き案内

インターネットからのお申込み

クレジットカード、インターネットバンキング(ペイジー)、ATM(ペイジー)、コンビニのいずれかの支払方法をお選びいただけます。

寄付の申込方法

募金特設サイト内の「寄付の申込方法」のページをご確認ください。



ゆうちょ銀行からのお振込み

ゆうちょ銀行所定の払込用紙に必要事項を記入のうえお振込みください。(現金でお振込みの場合に限り、手数料110円をご負担いただきます。)

- 1 払込取扱票にご記入ください
- 2 ゆうちょ銀行の窓口でお手続きください

■ お礼状と寄付金控除のための書類の送付

ご寄付が本学に入金されましたら、お礼状と寄付金控除のための①「寄付金額収書」②「特定公益増進法人であることの証明書(写)」③「税額控除に係る証明書(写)」をお送りいたします。

■ 確定申告での税制上の優遇措置

左記の書類を添えて確定申告を行ってください。以下に記載しております優遇措置が受けられます。

税制上の優遇措置について

個人の場合

確定申告の際、「税額控除制度」または、「所得控除制度」の2つの制度から減税効果の高い一方の制度を選択し、税の還付を受けることができます。優遇措置に関する問い合わせは、所轄税務署にご相談ください。

税額控除制度

寄付金額から2千円(税額控除額)を差し引いた額の40%が、税額控除対象額となります。寄付金額を基礎に算出した控除額を、税率に関係なく、税額から直接控除するため、小口寄付の減税効果が高くなるのが特徴です。

(寄付金額①－2千円)×40%＝減税額②

- ①寄付金額は総所得金額などの40%までが税額控除対象
- ②減税額は所得税額の25%を限度

所得控除制度

寄付金額から2千円(税額控除額)を差し引いた金額が所得金額から控除できる制度です。所得控除後、所得金額に応じた税率を掛けて税額を算出します。所得控除を行った後に税率を掛けるため、所得税率が高い高所得者の減税効果が高いのが特徴です。

(寄付金額①－2千円)×所得税率②＝減税額

- ①寄付金額は総所得金額などの40%までが税額控除対象
- ②所得税率は課税される年間所得金額に応じて5%～45%の段階

法人の場合

法人が本学に寄付をした場合、法人税法上、支出した寄付金を損金に算入することが認められています。損金算入にあたっては以下の2通りがあります。詳細は募金特設サイトをご確認ください。

■ 受配者指定寄付金 (金額が損金に算入される寄付金)

受配者指定寄付金とは、日本私立学校振興・共済事業団(以下「私学事業団」)を通じて法人様が指定した学校法人へ寄付をしていただく制度です。決算時に寄付金の全額を損金に算入する事ができます。私学事業団に対する諸手続きおよび損金算入に必要な私学事業団発行の「寄付金受領書」の発行などは本学園を經由して行います。

■ 特定寄付金 (損金算入限度額以内で私学事業団を過ぎない場合の寄付金)

この寄付金は、一般寄付金の損金算入限度額の別枠として損金に算入されます。損金算入に必要な本学園発行の「寄付金額収書」と「特定公益増進法人であることの証明書(写)」は、ご入金が確認でき次第お送りします。

その他のご寄付について

「大東古本募金」募集

読み終わった書籍や不要になったCD、DVD等の買取額が、本学への寄付となり、在学生への修学支援に充てられます。

大東古本募金

詳しくは <https://www.daito.ac.jp/kifu/bokin/book/> をご確認ください



「教育環境整備資金」募集 (第一高等学校)

募集目的 第一高等学校の教育施設・設備を充実させ、教育環境を整備するための事業支援に充てられます

募集目的	第一高等学校の教育施設・設備を充実させ、教育環境を整備するための事業支援に充てられます
募集目標額	240万円
募集対象	個人 1万円以上 法人・団体等 10万円以上

詳しくは第一高校事務室へお問い合わせください
Email: daito-ichiko@ic.daito.ac.jp

- 使途指定寄付 ■ 企業等法人による寄付(受配者指定寄付) ■ ご遺贈や、相続されたご遺産の寄付(三井住友銀行、みずほ信託銀行提携) ■ 現金以外の有価証券、不動産 などのご寄付については100周年記念事業推進室までお問い合わせください。

大東文化大学 100周年記念事業推進室

〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1 TEL:03-5399-7403 FAX:03-5399-7391 Email:100th@jm.daito.ac.jp

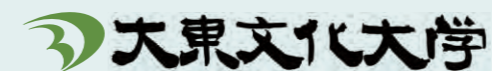
平日9時～11時20分、12時20分～17時



2023年 大東文化大学 創立100周年

大東文化大学 100周年記念 事業募金

ご支援のお願い



真ん中に文

大東文化大学は、創立以
様々な文化との出会いを通じて社会を
100周年にむけ充実し
より良い教育環境を学生たちへ届ける10
あなたの温かい支援によっ
そして、地域・領域・時代を超えた多
今日も新しい価値
その真ん中には、いつも、

DAITO BUNKA

ごあいさつ



皆様のご理解とご支援に支えられ
本学は2023年に100周年を迎えます

皆様には、日頃より本学の教育・研究活動に対し多大なご支援、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。東西文化の融合を建学の精神として、数多くの卒業生、数々の研究成果を世に送り出してきた本学は、2023年に100周年を迎えます。グローバル化や情報化、価値の多様化など時代の変化に対応し、新たな価値を不断に育むことを目指しながら、学生にとって充実した学び舎であり続けるために、温かいご支援をお願い申し上げます。

学校法人 大東文化学園 理事長 **中江 秀樹**

次の100周年に向けて、さらに発展しつづける
大学であるため、ご支援をお願いいたします

皆様には、平素より本学の教育・研究活動に対し格別のご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。本学では、「DAITO VISION 2023」および、さらにその10年後を見据えた「DAITO VISION 2023+10」を策定し「アジアから世界へ—多文化共生を目指す新しい価値の不断の創造」を理念に、学生が世界に目を向けられる機会を数多く用意しています。ダイバーシティを受け入れ、教育・文化のクロッシングとしての立ち位置を明確にし、東洋と西洋の教育・文化を融合させた「開かれた知の共同体」としての役割を担う大学として次の100年へ前進していく所存です。100周年記念事業募金の趣旨にご賛同いただき、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

大東文化大学 学長 **高橋 進**

「100周年記念事業募金」募集概要・要項

100周年記念事業募金では、これまでの「おおぎり募金」の募集目的である学生生活支援、海外留学支援、スポーツ活動支援に加え、本学の強みである学術資料の保存や学生の文化活動まで幅広く募集し、支援いたします。

発起人一覧 [2023年4月1日現在]	
中込 秀樹(理事長)	田中 裕昭(号:節山)
高橋 進(学長)	ラトゥ・ウィリアム 志南利
梅沢 祐行(事務局長)	守谷 承弘
村 俊範(学務局長)	理事一同
	評議員一同

募集目的	大学全体への支援(使途を指定しない支援)、学生支援、海外留学支援、学術・所蔵資料保存支援、陸上競技部(男子長距離・駅伝)支援、ラグビー部支援、スポーツ系活動支援、文化系活動支援、キャンパス整備支援
募集目標額	4億円
募集対象	個人 10万円以上 法人・団体等 100万円以上
募集期間	2021年9月20日～2025年9月19日(4年間)

募金目的

01 大学全体への支援 (使途を指定しない支援)

創立100周年に向けて、特に力を入れたい分野を支援します。



04 学術・所蔵資料 保存支援

漢籍を中心とした貴重書や現代作家の作品など本学保有の資源を後世に残すことで、大学の使命でもある「社会貢献」を一層進め、教育・研究の充実・向上を図っていきます。

07 スポーツ系 活動支援

スポーツ系活動における練習環境の整備やトレーニング機器等の物品購入・修繕等をおこないます。



02 学生支援

経済的な理由で修学が困難な学生を支援します。また、学業成績優秀者を報奨して勉学を奨励します。



05 陸上競技部 (男子長距離・駅伝) 支援

陸上競技部(男子長距離・駅伝)の練習・生活環境の整備をおこない、更なる飛躍を目指します。



03 海外留学支援

海外でのインターンシップや学生独自の留学計画などを体験することで、グローバルな視点で活躍できる人材育成をおこないます。



06 ラグビー部支援

ラグビー部の練習・生活環境の整備をおこない、更なる飛躍を目指します。

08 文化系活動支援

文化系活動における環境・施設等の整備をおこないます。



09 キャンパス 整備支援

ニューノーマル様式を取り入れた学修環境の整備や学生の文化交流活動を最大限に引き出す施設を整備します。



顕彰制度

顕彰対象者選出基準

- 大東文化大学が募集する100周年記念事業募金への寄付累計額が、所定の金額に達した個人および法人・団体とする。
- 顕彰の対象者は、前年度末までの寄付累計額を基準として決定する。
- 累計額の計算は、原則として100周年記念事業募金以降に受け入れた寄付を対象とする。

個人

■ 称号による顕彰および各種特典

寄付累計額	称号名称	各種特典
5000万円以上	特別名誉会員	100万円以上 ご寄付いただいた方 感謝状の贈呈
1000万円以上	名誉会員	100万円以上 ご寄付いただいた方 感謝状の贈呈
500万円以上	特別貢献会員	50万円以上 ご寄付いただいた方 銘板へご芳名の掲載
100万円以上	貢献会員	50万円以上 ご寄付いただいた方 銘板へご芳名の掲載
50万円以上	特別賛助会員	
10万円以上	賛助会員	

また、当該年度に顕彰対象になった方々を招待し、感謝の集いを開催いたします。

銘板への顕彰



法人・団体

■ 称号による顕彰および各種特典

寄付累計額	称号名称	各種特典
5000万円以上	特別名誉会員	100万円以上 ご寄付いただいた方 感謝状の贈呈
1000万円以上	名誉会員	100万円以上 ご寄付いただいた方 感謝状の贈呈
500万円以上	特別貢献会員	50万円以上 ご寄付いただいた方 銘板へご芳名の掲載
100万円以上	貢献会員	50万円以上 ご寄付いただいた方 銘板へご芳名の掲載
50万円以上	特別賛助会員	

■ 当該年度の寄付特典内容

当該年度(4月1日～3月31日)の寄付金額により、下記の特典をご用意しております。

寄付金額(当該年度)	特典内容
3万円以上	大学オリジナル記念品の贈呈
金額に関わらず全員	オリジナルポストカードの贈呈 本学ホームページへご芳名の掲載*

*ご寄付お申込み時にご記入いただいたご芳名を、本学ホームページ上に掲載し、未く顕彰させていただきます。また、個人情報の取り扱いにつきましては、適正に管理・保護いたします。ご芳名の公表を希望されない方につきましては、掲載いたしません。

HISTORY

1923



九段に創立

大東文化学院は高度な漢学教育を行う旧制専門学校として設立されました。関東大震災直後のことでした。

1943



戦時下の大東

1941年、新校地・池袋へと移転。学徒出陣や校舎焼失など苦境の中でも学びへの想いは揺らぎませんでした。

1953



新制・大東文化大学

戦後改革を経て新制大学への移行を果たした本学は、大東文化大学として新たな歩みを進めました。

1963



学部学科の拡充

1961年に板橋校舎へ移転、大学は2学部4学科体制へと拡充。以降、時代の要請に即した学部学科が次々と新設されました。

1973



「スポーツの大東」確立へ

1967年に新たに建設された東松山校舎では、選手育成に力を注ぎ、スポーツ伝統校の礎を築きました。

1983



教育研究の充実

国内有数の大規模総合大学へと拡大発展、施設充実や教員増員等により教育環境の改善に注力しました。

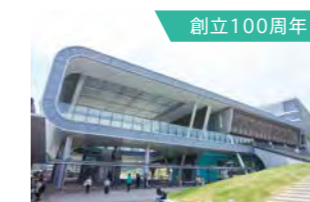
2003



複合エコキャンパス開発

板橋校舎を近代的エコキャンパスへと刷新し、続く90周年には東松山校舎を再開発、環境整備が進みました。

2023



文化で社会をつなぐ大学へ

8学部20学科へと成長した本学は、新たな時代を切り拓く力を持つ学生を育てていきます。

ご支援への感謝と100周年記念事業募金へのご願い

学業と陸上競技、どちらも全力で取り組むための原動力になりました

寄付金を原資とする修学継続支援事業「まなびのサポート」に採用され、その給付金で教科書や定期券を購入することができました。また、部活動の陸上競技で使用する道具も新調できたため、大会に向けた日々の練習にも集中して取り組んでいます。コロナ禍の影響で親の収入が減少したこともあり、経済的な不安がありました。給付金のおかげで金銭面の負担が軽減され、気持ちの面でも前向きになりました。充実した大学生活が送れているのは、皆様のご支援のおかげです。これからも本学の学生のために継続的なご支援をお願いいたします。



経済学部 **今川 真希さん**